

令和2年度 第2回 大阪市社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会
会議要旨

1 開催日時 令和2年10月22日(木) 14時00分～16時00分

2 議題

大阪市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(令和3年度～令和5年度)の策定について

3 委員発言及び事務局回答

【議題】

○事務局から、資料1に基づき、第1章～第6章の内容を説明。

(主な意見等)

- ・ 少子高齢化社会で介護人材が少なくなってくる状況で、介護人材のところをもう少し記載することができないか。
- ・ 計画本文では、複雑化した、多様化した、複合的な問題を抱えた人々の問題の中に、居住の問題、8050、老々介護生活困難、経済的な問題もあると思う。経済的な点や生活を維持できない家族全体が困っているケースについて、第7章複合的課題のところにももう少し含まれればいいと思う。丁寧に書いていただいているが、もう少しシビアな問題があると思うので、踏み込んで大阪市としてこういうことがしたいというものがあればいいと思う。
- ・ 介護問題について、労働環境がよくないというのは、よく言われており、家族の中でも介護の問題がある、介護で仕事をしていくうえで、専門職を増やしていくのに雇用の環境、労働環境をどう改善していくのか、大阪市としてそのためにこういう点が必要だということを少し書いていただけないか。
- ・ 介護人材の問題、材料よりも財産、宝の方がいいなと思っている。介護人材について労働環境が良くないというのは、わかっている状況で、家族の中でも介護の問題がある。介護で仕事をしていくうえで、専門職を増やしていくのに雇用の環境、条件、労働環境をどう改善していくのか、少し大阪市として踏み込んで、そのためにこういう点が必要だということを少し書いていただけないかと思う。
- ・ 人材確保・生産性の向上において、ICTの活用等により、環境自体変わりつつあるのでそれを推進することとかが文言に入れていただくことはできないか。

○事務局から、資料1に基づき、第7章、第8章の内容を説明。

(主な意見等)

- ・なかなか在宅医療を担う医師が育たない中、大阪市として、在宅医をどのようにして増やしていくのかというところを少し記載していただき、そのうえで、在宅医療・介護連携の推進につなげていただきたい。
- ・住宅型有料老人ホーム、サービス付き高齢者住宅に対して特定施設の指定ができるような体制を大阪市でとることはないのか。特定施設の指定を受けることにより、行政としても指導することができる、より一層特定施設の指定ができる枠を増やすという方向で考えた方がいいのではないか。
- ・介護人材不足について、介護支援専門員、社会福祉士などその他の人材が不足しているような状態であるので、対策を進めていただきたい。

○事務局から、資料2-1、2-2に基づき、第9章、第10章の内容を説明。

(主な意見等)

- ・これからの20年を考えると、生活様式も家族の在り方も今までの20年とは違うと思う。どのような状態でも柔軟に対応できるような、骨太な基本方針を立てて対応していただきたい。
- ・現在サービスを使っていない方が心配である。普段は健康でも、明日には転倒してどうなっているかわからないことも考えられるので、緊急通報システムの事業を周知していただきたい。
- ・介護人材確保にしっかり力をいれていただきたい。